

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 9消防費

項 1消防費

目 1常備消防費

事務事業番号 09010101

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
救急救命士等研修訓練事業		5,768 千円	千円	千円	214 千円	5,554 千円
消防本部総務課						
根拠法令	消防法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目的 救急救命士・大型自動車・大型特殊自動車運転資格者を養成し、円滑に隊・車両の運用を図ります。</li> <li>・事業の対象 市民の生命、身体及び財産</li> </ul>					
事業の必要性	消防体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	<p>1 救急救命士養成</p> <p>救急救命士を養成するために、年次計画に基づき、札幌市消防局救急救命士養成所へ職員を1名派遣しました。</p> <p>2 大型自動車運転資格者養成</p> <p>大型自動車運転免許取得者を年次計画に基づき9名養成しました。</p>					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	5,768 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	5,524 千円		担当正規職員	5,524 千円	0.8	人
総 計	11,292 千円		嘱託職員	千円		人
			再任用(7ル)	千円		人
			再任用(ハ-7)	千円		人
		臨時職員	千円		人	
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	救急救命士養成		名	1	1	1
	大型自動車運転資格者養成		名	9	9	9
	大型特殊自動車運転資格者養成		名			3
成果目標	救急救命士・大型自動車・大型特殊自動車運転資格者を養成し、円滑に隊・車両の運用を図ります。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	資格者を養成し、円滑に隊・車両の運用を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することが出来るとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	消防車両等の運用に支障をきたさないために、救急救命士や大型自動車運転資格者の養成を計画的に行います。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 9消防費

項 1消防費

目 1常備消防費

事務事業番号 09010102

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
緊急消防援助隊合同訓練事業		487 千円	千円	千円	千円	487 千円
消防本部総務課						
根拠法令	消防組織法					
実施方法	■直接実施 □業務委託等 □補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目的 緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。</li> <li>・事業の対象 市民の生命、身体及び財産</li> </ul>					
事業の必要性	消防体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	<p>緊急消防援助隊 北海道・東北ブロック合同訓練</p> <p>大規模災害時における緊急消防援助隊の技術及び連携活動能力の向上を目的に、開催地である山形県へ職員（6名）を派遣しました。</p>					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	487 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	1,381 千円		担当正規職員	1,381 千円	0.2	人
総 計	1,868 千円		嘱託職員	千円		人
			再任用（フル）	千円		人
			再任用（ハーフ）	千円		人
臨時職員	千円		人			
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	緊急消防援助隊合同訓練（全国）		回			1
	緊急消防援助隊合同訓練（北海道・東北ブロック）		回	1	1	1
成果目標	緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図ります。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することが出来るとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上のために、計画的に訓練へ参加します。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 9消防費

項 1消防費

目 2非常備消防費

事務事業番号 09010201

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
消防団活性化事業		3,872 千円	千円	千円	千円	3,872 千円
消防本部総務課						
根拠法令	消防法					
実施方法	■直接実施 □業務委託等 □補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の目的 消防団員の消防技術の向上を図ります。</li> <li>・事業の対象 市民の生命、身体及び財産</li> </ul>					
事業の必要性	消防体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	<p>1 苫小牧市総合防災訓練、多数傷病者事故対応訓練参加</p> <p>地震被害、津波災害等の大規模災害に備え、消防団としての活動向上のため、訓練に参加しました。</p> <p>2 苫小牧市消防訓練大会</p> <p>本大会は、3年に1度開催されており、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実を目的として実施しました。</p>					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	3,872 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	1,831 千円		担当正規職員	1,381 千円	0.2	人
総 計	5,703 千円		嘱託職員	千円		人
			再任用(フル)	450 千円	0.1	人
			再任用(ハ-7)	千円		人
		臨時職員	千円		人	
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	苫小牧市消防訓練大会		回	1		
	苫小牧市総合防災訓練		回	1		1
	多数傷病者事故対応訓練		回	1	1	1
成果目標	消防団員の消防技術の向上を図ります。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	消防団員の消防技術の向上を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することが出来るとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	消防団員の消防技術の向上のために、計画的に訓練へ参加します。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 9消防費

項 1消防費

目 3消防施設費

事務事業番号 09010301

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
消防施設・装備等整備事業		26,192 千円	21,853 千円	千円	千円	4,339 千円
消防本部総務課						
根拠法令	消防法					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	・事業の目的 災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した資機材等を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。 ・事業の対象 市民の生命、身体及び財産					
事業の必要性	消防体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	・救急資機材の更新 (1式)  ・空気呼吸器（平成15年式）の更新 (21式)  ・消防用ホースの更新 (120本) 					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	26,192 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	10,358 千円		担当正規職員	10,358 千円	1.5 人	
総 計	36,550 千円		嘱託職員	千円	人	
			再任用 (7ル)	千円	人	
			再任用 (ハ-7)	千円	人	
臨時職員	千円	人				
事業実績 (活動指標)	指標名	単位	H29年度	H28年度	H27年度	
	救急資機材	式	1			
	空気呼吸器	式	21	22		
消防用ホース	本	120		81		
成果目標	災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した資機材等を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	老朽化した資機材等を更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することが出来るとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	消防体制の維持、強化のために、計画的な更新をしていきます。					
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 9消防費

項 1消防費

目 3消防施設費

事務事業番号 09010302

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
消防車両整備事業		312,642 千円	73,703 千円	228,200 千円	千円	10,739 千円
消防本部総務課						
根拠法令	消防法					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	・事業の目的 災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化した消防車を更新し、消防体制の維持、強化を図ります。 ・事業の対象 市民の生命、身体及び財産					
事業の必要性	消防体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>はしご車の更新</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>化学消防ポンプ車の更新</p>  </div> </div>					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	312,642 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	8,977 千円		担当正規職員	8,977 千円	1.3	人
総 計	321,619 千円		嘱託職員	千円		人
			再任用(フル)	千円		人
			再任用(ハーフ)	千円		人
臨時職員	千円		人			
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	はしご車		台	1		
	化学消防ポンプ自動車		台	1		
成果目標	災害時等における消防活動の充実強化を図るため、老朽化したはしご車及び化学消防ポンプ自動車を更新し、消防体制の維持、強化を図りました。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	老朽化した消防車両を更新を図ることで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することが出来るとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	消防体制の維持、強化のために、計画的な更新をしていきます。					
特記事項						


事務事業評価（主要事業レビュー）

款 9消防費

項 1消防費

目 3消防施設費

事務事業番号 09010303

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
救急車両整備事業		27,479 千円	26,000 千円	千円	千円	1,479 千円
消防本部総務課						
根拠法令	消防法					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	・事業の目的 災害時等における救急活動の充実強化を図るため、老朽化した救急車を更新し、救急体制の維持、強化を図ります。 ・事業の対象 市民の生命、身体及び財産					
事業の必要性	救急体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	・高規格救急車（平成20年式）の更新 					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	27,479 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	8,977 千円		担当正規職員	8,977 千円	1.3 人	
総 計	36,456 千円		嘱託職員	千円	人	
			再任用（フル）	千円	人	
			再任用（ハーフ）	千円	人	
臨時職員	千円	人				
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	高規格救急自動車		台	1	1	1
成果目標	災害時等における救急活動の充実強化を図るため、老朽化した救急車を更新し、救急体制の維持、強化を図ります。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	老朽化した救急車両を更新を図ることで、救急体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することが出来るとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	救急体制の維持、強化のために、計画的な更新をしていきます。					
特記事項						



事務事業評価（主要事業レビュー）

款 9消防費

項 1消防費

目 3消防施設費

事務事業番号 09010304

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
消防防災訓練センター整備事業		30,780 千円	千円	千円	千円	30,780 千円
消防本部総務課						
根拠法令	消防法					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	・事業の目的 地域の防災力を強化するため、自主防災組織等の訓練・研修等が行える施設として、また、備蓄倉庫機能も兼ねる施設の整備を図ります。 ・事業の対象 市民の生命、身体及び財産					
事業の必要性	消防体制を強化し、施設及び人員を活用して、市民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害を軽減します。					
事業の内容	災害に強いまちづくりを目的とし、災害対応用の資機材や物資の備蓄倉庫の機能を備え、平時には自主防災組織等の訓練・研修等が行える施設です。 また、緊急消防援助隊車両及び資機材を保管した施設でもあります。 外構整備が完了し平成29年10月に運用を開始しております。					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	30,780 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	20,715 千円		担当正規職員	20,715 千円	3	人
総 計	51,495 千円		嘱託職員	千円		人
			再任用(フル)	千円		人
			再任用(ハ-7)	千円		人
臨時職員	千円		人			
事業実績 (活動指標)	指標名	単位	H29年度	H28年度	H27年度	
	消防防災訓練センター整備		外構工事	主体工事	基本設計	
				電気工事	実施設計	
成果目標	地域の防災力を強化するため、自主防災組織等の訓練・研修等が行える施設として、また、備蓄倉庫機能も兼ねる施設の整備を図ります。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
	事業の効率性（費用対効果）	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低				
自己評価の理由	地域の防災力を強化することで、消防体制が強化され、市民の生命、身体及び財産を災害から保護することが出来るとともに、水火災又は地震の災害を防除し、これらの災害による被害の軽減が図られており、事業の有効性は高く、費用に見合った効果を得ていると考えています。					
事業の課題、今後の方向性等	地域の防災力の強化を図ります。					
特記事項						

